

M-GTA（実践的グラウンデッド・セオリー・アプローチ）研究会主催

第8回公開研究会 IN 沖縄

第一部で M-GTA についての基本を講義で学び、第二部では実際の研究例をもとに分析の具体的技法と解釈の仕方を学びます。

日時：2013 年 11 月 2 日（土）13:30～17:00

会場：琉球大学医学部臨床講義棟 1 階

1. 琉球大学医学部へのアクセス

琉球大学ホームページ <http://www.u-ryukyu.ac.jp/> →学部・院等 →医学部医学科
→医学部概要 →[ロケーション・環境](http://www.med.u-ryukyu.ac.jp/category/faculty/location) <http://www.med.u-ryukyu.ac.jp/category/faculty/location>

2. 臨床講義棟配置図

施設運営部ホームページ <http://www.sisetu.jim.u-ryukyu.ac.jp/> →団地紹介→[上原団地](#)

定員：100 名

参加費：M-GTA 研究会会員は無料、

非会員は 3000 円（資料代を含む。当日、受付でお支払い下さい）

申込方法：次の URL からお申し込みください。

<https://ssl.formman.com/form/pc/wPRaAUco9zECvDen/>

問合せ先：琉球大学医学部保健学科小児看護学分野 辻野久美子

電話：代表 098-895-3331（内線）2638 または 098-895-1266（直通）、

FAX：098-895-1266

【プログラム】

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00 | 受付開始 |
| 13:30 | 開会の挨拶 辻野久美子（総合司会：琉球大学医学部保健学科） |
| 13:40～15:00 | 第一部 基調講演
「M-GTA の基本特性と分析技法」木下康仁（立教大学社会学部） |
| 15:10～16:30 | 第二部 分析スーパーヴィジョン・セッション
「小離島で暮らす家族を介護し看取るプロセス
～修正版 M-GTA を用いた介護体験の分析～」
研究発表者 古謝安子（琉球大学医学部保健学科）
スーパーヴァイザー 木下康仁 |
| 16:40～17:00 | 質疑 |

M-GTA 研究会ホームページ <http://m-gta.jp/index.html>

【講師の紹介】

木下 康仁（きのした やすひと） <http://www2.rikkyo.ac.jp/web/yasuhito/>

1984年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校、人間発達・エイジング研究科博士課程修了(Ph. D.)

現在 立教大学社会学部教授（社会老年学、福祉社会論、質的研究法）

【主著】

「第五章 ヘルスリサーチにおける質的研究」「第七章 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチと健康領域での活用」『ヘルスリサーチの方法論』（井上編著、放送大学教育振興会、2013）

『文化と看護のアクション・リサーチ』（単訳）、医学書院、2010

『老人の歴史』（単訳）、東洋書林 2009

『質的研究と記述の厚み：M-GTA・事例・エスノグラフィー』（単著）、弘文堂、2009

『Older People in an International Local Context: the Cases of Japan and Sweden』（共編著）、The Vardal Foundation, Stockholm、2008

『改革進むオーストラリアの高齢者ケア』（単著）、東信堂、2007

『ライブ講義 M-GTA：実践的質的研究法 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチのすべて』（単著）、弘文堂、2007

『分野別実践編グラウンデッド・セオリー・アプローチ』（編著）、弘文堂、2005

『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践』（単著）、弘文堂、2003

『グラウンデッド・セオリー・アプローチ：質的実証研究の再生』（単著）、弘文堂、1999

『福祉社会事典』（共編著）、弘文堂、1999

『ケアと老いの祝福』（単著）、勁草書房、1997

『老人ケアの人間学』（単著）、医学書院、1993

『福祉社会スウェーデンと老人ケア』（単著）、勁草書房、1992

『Refuge of the Honored: Social Organization at a Japanese Retirement Community』（共著）、University of California Press, 1992

『老人ケアの社会学』（単著）、医学書院、1989

『死のケア理論と看護』（単訳）、医学書院、1988

『慢性疾患を生きる』（共訳）、医学書院、1987、 他

【参考】

看護研究 2013 年増刊号 特集

質的研究方法を用いた博士論文作成指導の技法 メンタリングプロセスに焦点を当てて

以上